

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-508531 (P2005-508531A)

【公表日】平成 17 年 3 月 31 日 (2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2005-013

【出願番号】特願 2002-568201 (P2002-568201)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 1/04

【 F I 】

G 0 6 F 1/04 3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 16 日 (2005.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イネーブル制御 (44) を有するバックグラウンド・デバッグシステム (14) と、
バックグラウンド・デバッグシステムに接続され、イネーブル制御を受信するように適合されたクロック装置 (19) であって、発振を停止することが可能である前記クロック装置 (19) とを備え、

イネーブル制御がアサートされると、クロック装置が発振を停止しないようにされる、
データ処理システム。

【請求項 2】

クロック装置 (19) に接続されたバックグラウンド・デバッグシステム (14) を有するデータ処理システムを動作させるための方法において、

低電力モードを入力する工程と、その低電力モードの間、クロック装置は、発振を停止することが可能であることと、

バックグラウンド・デバッグイネーブル制御 (44) をアサートする工程と、

バックグラウンド・デバッグイネーブル制御をアサートする工程にตอบสนองして、バックグラウンド・デバッグシステムが、クロック装置が発振を停止しないようにする工程とを含む方法。

【請求項 3】

所定の通信プロトコルにより、所定の記号継続時間を有する記号の転送が可能な通信インターフェイス (52) と、

通信インターフェイスに接続され、かつ同期要求を受信するように適合された同期検出装置 (64) と、前記同期要求は記号継続時間よりも長い継続時間を有することと、

通信インターフェイスに接続され、同期要求に対して同期応答を供給するように適合された同期応答装置 (66) とを含み、前記同期応答は、データ処理システムによってホスト装置に供給され、ホスト装置は、該同期応答から所定の記号継続時間を決定することが可能であるデータ処理システム。

【請求項 4】

データ処理システムにおいて、

データ処理システムの外部にあるホスト装置との通信がバックグラウンド・デバック速度で可能である非同期通信インターフェイス (52) と、

非同期通信インターフェイスに接続されたバックグラウンド・デバッグシステム（１４）とを含み、前記バックグラウンド・デバッグシステムは、

ホスト装置から同期要求を受信するように適合された同期検出装置（６４）と、

同期要求に応答してホスト装置に対して同期応答を供給するように適合された同期
応答装置（６６）とを備え、前記同期応答はバックグラウンド・デバック速度を決定するた
めに用いられる、データ処理システム。

【請求項５】

請求項４に記載のデータ処理システムであって、

非同期通信インターフェイスは、通信プロトコルに従って、所定の記号継続時間を有す
る記号の転送が可能であり、

ホスト装置は、所定の記号継続時間よりも長い継続時間にわたって同期要求をアサート
するデータ処理システム。

【請求項６】

第１データ処理システムを第２データ処理システムに同期させる方法であって、第１デ
ータ処理システム及び第２データ処理システムは、第２データ処理システムのクロック速
度に関して所定の記号継続時間を有する記号を転送するための通信プロトコルによって通
信を行ない、前記方法は、

第１データ処理システムから所定の記号継続時間よりも長い継続時間を有する同期要求
を供給する工程と、

同期要求に応答して、第２データ処理システムが所定の固定継続時間を有する同期応答
を供給する工程であって、第１データ処理システムが該同期応答から所定の記号継続時間
を決定する、工程とを含む方法。

【請求項７】

バックグラウンド・デバッグクロック装置（１９）と、バックグラウンド・デバッグク
ロック装置に接続されたイネーブル制御（４４）とを有するバックグラウンド・デバッグ
システム（１４）と、

バックグラウンド・デバッグシステムに接続されたシステムクロック装置であって、シ
ステム発振器に接続されるように適合され、システム発振器の発振停止が可能な前記シ
ステムクロック装置とを備える、データ処理システムであって、

イネーブル制御がアサートされると、バックグラウンド・デバッグクロック装置がイネ
ーブル状態になるデータ処理システム。

【請求項８】

システムクロック装置に接続されたバックグラウンド・デバッグシステムを有するデー
タ処理システムを動作させる方法であって、前記バックグラウンド・デバッグシステムが
バックグラウンド・デバッグクロック装置を有し、前記方法は、

低電力モードを入力する工程と、低電力モード中、システムクロック装置が、データ処
理システムに対する発振を防止することと、

バックグラウンド・デバッグイネーブル制御をアサートする工程と、

バックグラウンド・デバッグイネーブル制御をアサートする工程に応答して、システム
クロック装置から独立して、バックグラウンド・デバッグクロック装置の発振をイネー
ブル状態にする工程とを含む方法。